

スリップ痕は語る

我々は、急ブレーキを踏んだ痕跡として道路上に印象されたタイヤのスリップ痕をよく見ることができる。このスリップ痕は、交通事故を解明するのに大変重要なものである。タイヤの接地面も人間の足跡と同じように、フットプリントという。ちなみに指紋は、フィンガープリントである。したがって、タイヤのスリップ痕跡は、交通事故事件を捜査する上で欠かせない重要な証拠になる。

タイヤのスリップ痕は二つに大別され、ブレーキにより

印象されたものを縦すべり痕といい、自動車がスピンのしたら急旋回したりしたときに印象されたものを横滑り痕という。これらの痕跡から、車種、車両の速度、衝突地点、車両挙動、ハンドル角度などを特定することができる。また、タイヤのスリップ痕は、どちらの車両がセンターラインをオーバーしたかなど、有力な情報をもっており、スリップ痕は、事件を語るとまで言われて、これまで多くの大事件や難事件を解明している。

(財)日本自動車研究所 山崎俊一)



日本自動車研究所 試験コースにて
ブレーキのスリップ痕
科学警察研究所の鑑定研究